

「赤レンガ」

【平成30年度・第1号(新年度号)】

発行:倉敷市立市民病院広報委員会・地域医療連携室

発行月:平成30年5月



～倉敷市立市民病院 基本理念と基本方針～

<基本理念>

- ・市民に信頼される地域の中核病院を目指す。
- ・人間味あふれる温かな医療を実践する病院を目指す。

<基本方針>

- ・市民が利用しやすかつ患者中心の良質な医療を公平に提供するよう努める。
- ・地域の中核病院として市民のニーズに応え、初期・二次救急医療、小児の夜間救急の充実に努める。
- ・採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、公立病院として地域医療の確保に努める。
- ・市民の健康保持と福祉の増進を図るため、予防医療の充実に努める。
- ・地域医療の向上のための病診連携を図り、病床の一部を開放病床とする。
- ・病院の健全経営に努め市民の信頼に応える。
- ・疾病構造の変化に対応し得る医療体制の整備に努める。

<目次>

- ・表紙「当院基本理念・基本方針」
- ・「院長・事務局長あいさつ」
- ・「新任職員紹介」
- ・栄養だより
- ・連携のひろば「老人保健施設 オアシスK-3」

新児島市民病院「倉敷市立市民病院」が4月1日より始動しました。

平成 30 年 3 月 21 日 開院式



院長 江田 良輔

昭和 25 年に児島味野に病床数 20 床でスタートした児島市民病院は、皆様に支えられ、時を紡いで新たな時代に対応すべく「倉敷市立市民病院」として生まれ変わりました。外観は「繊維のまち」に立地する病院にふさわしくファッションナブルで布の持つ「あたたかさ」や「やさしさ」が感じられ、ジーンズ生地「綾織り」をデザインキーとしています。市

民に馴染み深く親しみの持てる建物が完成したのではないのでしょうか。

地域の皆様には、当院の厳しい運営状況のなか、至らぬことばかりでありましたが、いつも温かい手を差し伸べてくださり、ボランティア活動をはじめ、多大なるご支援を賜りました。今があるのはひとえに皆様のおかげと心から感謝しております。ここから私たち職員一同は、心機一転、覚悟を持って「地域密着型の自治体病院としてあるべき姿を追及」しながら、この多様な時代の、激動の医療情勢に対応できる「地域社会とともに発展する病院」にすることが責務であり、恩返しであると胸に刻んでいます。人の尊厳を大切にする医療、人生の喜びや悲しみを共有できる医療、人間味あふれる温かい医療をめざします。また地域全体が活性化し、より住みやすいところになるために当院が一役を担うことができたらうれしいなと思っています。今後、3年計画でさらなるハード、ソフト面の充実を図る予定ですので、長い眼でご指導いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新任事務局長 あいさつ



児島地区の地域医療を長年にわたり担ってきた本院が、「倉敷市立市民病院」として、倉敷市南部の中核的な医療を担うべく、新たなスタートを切りました。

開院した新病院では、3Dマンモグラフィなどの最新鋭機器が導入され、さらに、市内の医療機関初の免震構造を有するなど、災害にも強く、安心して医療を受けていただける施設となっております。

また、開院にあわせて医療スタッフや体制の充実に努めているところでありますが、今後とも、地域に密着しつつ、名実ともに本市の中核的医療機関を目指してまいりますのでご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事務局長 木下 修

新入職員紹介 1

医局 診療部長/麻酔科医長 竹久 紫乃

当院初の常勤麻酔科医として赴任しました。以前は大学病院の麻酔の先生が来られない日は、外科・産婦人科の先生方が自ら全身麻酔を担当され、麻酔に人手を割くのも大変だったそうです。これからは手術に専念して頂ければと思っています。医療集約化により、都会の大病院しか手術ができなくなる傾向がありますが、高齢化が進むと、それでは解決できない問題も起こるでしょう。新たなソリューション（解決策）を当院から発信するつもりで頑張ります。

医局 泌尿器科 医長 石井 和史

岡山大学病院、岡山市立市民病院での勤務を経て、4月より当院へ着任しました。高齢者の排尿障害、罹患率が増加している前立腺癌をはじめとする尿路性器癌、尿路結石など幅広く泌尿器科疾患に対応します。患者さんにとって、泌尿器科は敷居の高い診療科と思いますが、納得できる説明と何か一つでも良い知らせを持って帰っていただくことで、受診して良かったと思えるような診療を心掛けたいと思います。

医局 外科医長 森 秀暁

今年度より外科で勤務させて頂いております。前任は岡山医療センターで勤務しておりました。皆様に安心、信頼される診療を全力で行いたいと思います。宜しくお願い致します。

医局 歯科口腔外科医長 小野 剛

地域の歯科医院と連携をとりながら、口腔ケアや歯科口腔外科治療を行い、皆様の健康をサポートいたします。また、全身疾患（高血圧、糖尿病、心臓病、腎臓病など）をお持ちで地域の歯科医院では治療が困難な場合には、主治医や担当科医師と連携し治療を行います。地域の皆様のお役に立てるよう、努めて参ります。

医局 整形外科 副医長 廣瀬 一樹

香川県から来ました、廣瀬一樹と申します。本年度から当院での整形外科医としてお世話になります。外傷整形外科に興味を持っています。児島の外傷患者さんを一人でも多く助けられるよう日々頑張っていきたいと思っております。また、サッカーをしていましたので、膝分野にも興味を持っています。今年はワールドカップイヤーです。みなさんとサッカー日本代表を応援しましょう。今後とも何卒宜しくお願い致します。

医局 外科 副医長 岸 良匡

この度、倉敷市立市民病院外科に赴任してまいりました岸と申します。4月から新しい病院で勤務ができることで楽しみにしていました。外科一般と扱う範囲が大きく、学ぶことがたくさんありますが、血管系を中心に診療に携わっていければと考えておりますので、宜しくお願い致します。

医局 内科 副医長 木村 真弓

4月から内科に赴任しました木村です。昨年度までは姫路勤務だったため、親しみある岡山弁に囲まれながら日々診療できることを嬉しく思います。患者さんや、他のスタッフから気軽にご相談いただける存在となれるよう、一つずつ丁寧に取り組みたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

看護部 五輪 みのり 4月より3階西病棟に配属になりました。至らない点もあるとは思いますが、患者様やご家族にとって温かい看護が提供できるように努めます。宜しくお願い致します。

看護部 大村 しのぶ 4月より3階西病棟へ配属となりました。地域の中核病院として市民の皆様に、安心して生活を送っていただけるよう、また信頼されるよう頑張りますので宜しくお願い致します。

看護部 白神 泉 4月から3階西病棟に配属になりました。色々と分からない事だらけでご迷惑をお掛けしますがご指導宜しくお願い致します。地域の中核病院で、地域の方々に安心して頂ける看護が出来るよう頑張ります。

看護部 徳永 恵 4月より学生時代を過ごした懐かしい児島の地で勤務することになりました。市民病院での仕事に慣れるまで肉体的、精神的に厳しいと思いますが笑顔を忘れず丁寧な仕事を心がけ、真摯に取り組んでいきたいと思っています。宜しくお願い致します。

新入職員紹介 2

看護部 中村 真弥 この度、3階東病棟に配属されました。前職が有床診療所のため、新たな知識、技術を学びたく就職を希望し市民病院へ入職できることになりました。まだまだ、知識、経験ともに浅くご迷惑をお掛けすると思いますが、一生懸命私なりに頑張っていこうと思っています。ご指導の程宜しくお願い致します。

看護部 新田 倫子 4月から4階西病棟に配属となりました。地元は広島県の尾道市ですが、7年前から倉敷市に住んでいます。最近、児島へ引越してきたのですが、海と山があり地元と雰囲気似ていることから、この町が気に入っています。業務を早く覚えて一生懸命頑張りますので、ご指導の程宜しくお願い致します。

看護部 深川 友美 4月から5階病棟に配属になりました。施設やクリニックでの仕事が長く不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることになるとと思いますが、一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

看護部 三木 眞実 4月より3階西病棟に配属になりました。新しい環境で分からない事もありますが、一生懸命頑張っていきます。宜しくお願い致します。

看護部 佐藤 莉帆 4月より4階西病棟に配属になりました。幼い頃から住んでいる児島で就職することができ、とても嬉しいです。看護師1年目でまだまだ未熟者ではありますが、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。

看護部 石津 未紗 3階東病棟に配属になりました。児島の地に生まれ、児島が大好きです。看護師1年目で分からない事が沢山あり皆様にご迷惑をお掛けしますが、いち早く仕事を覚え、頑張っていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

看護部 歯科衛生士 金田 麻衣子 4月より口腔外科の歯科衛生士として入職しました。多職種の中で連携して患者様の健康を守り、サポートできるように頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

看護部 歯科衛生士 福田 真由美 4月より歯科口腔外科で歯科衛生士として勤務することになりました。病院歯科への勤務は初めてで不安もありますが、1日も早く仕事を覚え患者様や病院へ貢献できるよう頑張りますので宜しくお願い致します。

薬局 薬剤師 小野 菜摘 4月から薬剤師1年目として薬局に入職しました。実習で2ヶ月半お世話になった病院、そして地元児島で働くことができるのを大変嬉しく思っています。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

栄養管理課 管理栄養士 川上 晴美 4月から栄養管理課に入職しました。生まれも育ちも児島学区の私にとって、市民病院で働かせていただける事を大変嬉しく思っています。新しい病院と業務に1日でも早く慣れ、地域の市民の皆様信頼される栄養士になれる様に努力していきますので、宜しくお願い致します。

放射線科 放射線技士 日野 美紀 4月より放射線技師として入職しました。地元である倉敷市で働くことができ嬉しく思います。1年目でわからないことばかりですが、1日にも早く戦力になれるよう頑張ります。宜しくお願い致します。

医療安全管理室 臨床工学技士 八木 美子 この度、臨床工学技士として入職させていただきました。当院では初めての職種ということもあり、耳慣れない方も多いかと思いますが、院内で使用される医療機器の安全を確保すべく、定期点検や終業点検を行い、そして不具合時の対応などをさせていただきたいと思っています。ご迷惑をお掛けすると思いますが、宜しくお願い致します。

事務局 医事栄養係長 長谷川 和彦

4月より赴任して参りました、医事栄養係長の長谷川と申します。医療業界は初めてですが、協力しながら早く仕事を覚え、市民病院の力になって行きたいと考えています。宜しくお願い致します。

栄養だより

「より温かく！おいしいお食事を提供します。」

4月1日に新病院が開院いたしました。給食室も、調理機器も新しくなり、より清潔な調理室でのお食事の提供ができるようになりました。



厨房内写真

特に温冷配膳車を導入しましたので、保温食器での提供に比べて、数段温かく患者様にお食事を届けることができました。また、併わせて食器類やお盆も新しいデザインの物を用意しましたので、見た目にも楽しく、食欲をそそること間違いなしです。（食器選びには院長先生にも協力いただきました。）

☆食器が新しくなりました！汁椀が一回り小さくなっています。

厚生労働省では生活習慣病の発症と重症化の予防のために、**食塩の目標量を男性8g、女性7g**としています。また、平成28年度の国民栄養調査の結果では、岡山県の男性の食塩摂取量は10.1g、女性は8.4gでした。私たちは知らず知らずのうちにたくさんの塩分をとっているのです。

当院では、汁物があったほうが食べやすいとお声が多くあるため、塩分制限のない患者様のお食事には、毎食汁物をお付けしています。そのため以前は男女とも1日10g以下の塩分でお食事をお出ししていました。この度、食器を新しくするにあたって、味付けを薄くしない



で汁椀を小さくして量を減らすことによって、1日の**塩分量が8.5g以下に減塩**できるようになりました。

お食事の味は慣れもあります。いつも薄味を心がけていれば、食材そのものの味や、だしのうまみなどでおいしく食べるできるようになります。

☆しっかり食べて元気にならしましょう。



病院のお食事は、主治医が患者様一人ひとりに合った食事の指示を出して提供しています。全部食べていただきたい量での提供です。実際にしっかり食べていただける患者様は、回復が早く、退院も早い印象があります。やはり、栄養は健康の源ですね。食事は適量をよくかんで食べるようにしましょう。

栄養管理科

介護老人保健施設

オアシス K-3

神原 俊介 施設長

平成3年11月より当施設を開設し、今年で27年目となります。倉敷シティ病院と共に医療と介護のサービスを提供させていただいております。

さて介護老人保健施設とは、主に医療ケアやリハビリを必要とする要介護者が入居できる施設です。病院と自宅の間隔的な役割があるため、在宅復帰を前提としたリハビリテーションが中心となってきています。介護老人保健施設オアシス K-3には入所施設(100床)、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、通所リハビリテーション(40名定員)の部署を設けております。医師、看護師、理学療法士などの医療従事者、また相談員やケアマネジャー、介護士などの介護従事者、さらにはご家族の方、地域の方たちと意見交換しながら「多職種協働」を念頭に利用者様に対し、より良いケアを追究していくよう取り組んでいます。「医療と福祉の連携で高齢社会の理想郷を目指します」が私たちの法人理念です。その理念を念頭に職員一丸となって皆様を支えていきたいと考えています。

この度、倉敷市立市民病院様には、このような機会をいただき深く感謝いたします。

これからも児島地区において「連携」を図り、皆様のお役に立てできるよう取り組んで参りたいと思います。

住所：〒711-0923
倉敷市児島阿津2丁目7-53

TEL：086-472-0123
FAX：086-472-7113

担当：三宅・守谷



発行者：倉敷市立市民病院

住所：〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地

TEL：086-472-8111 (代表) FAX：086-472-8134 (連携室直通)

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kojimahospital/>